

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年7月29日（木）

2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアW2
- ・伐採木一時保管エリアT

3 確認項目

- (1) 瓦礫類一時保管エリアW2の現況確認
- (2) 伐採木一時保管エリアTの現況確認

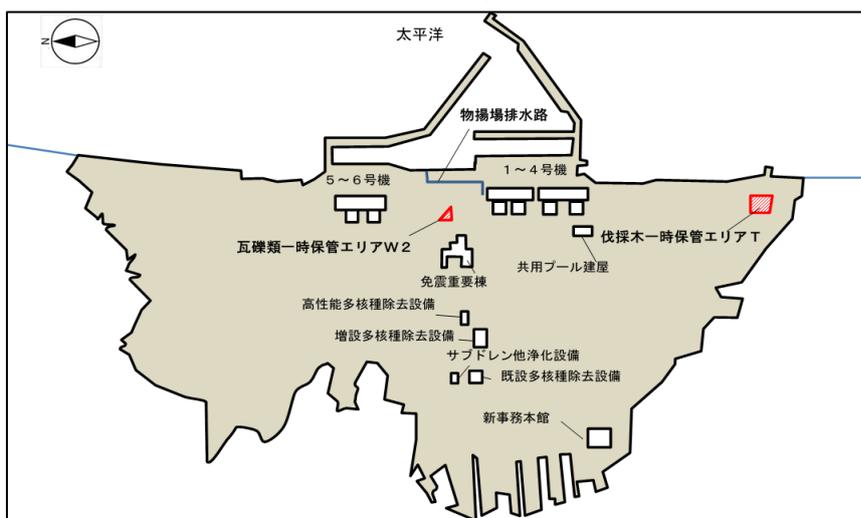
4 確認結果の概要

(1) 瓦礫類一時保管エリアW2の現況確認について

本年3月に瓦礫類一時保管エリアW2で放射線量の高いゲル状物質が確認されたことを受けて、東京電力では、確認された箇所のアスファルトを剥ぎ取りして再舗装するなど、エリア全体での対策を進めている。

前回調査時（6月8日）は、エリア内に仮置きされていた土砂を搬出していったことから、その後の状況について確認した。（図1）

- ・土砂の搬出作業が完了しており、エリア内に仮置きされていたコンテナの移設も完了していた。（写真1）
- ・エリア全体でアスファルトが剥ぎ取りされており、剥ぎ取り後のアスファルトはエリア内から撤去されていた。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)
土砂の保管状況
(令和3年6月8日撮影)



(写真 1 - 2)
同左
(令和3年7月29日撮影)



(写真 1 - 3)
コンテナの保管状況
(令和3年6月8日撮影)



(写真 1 - 4)
同左
(令和3年7月29日撮影)



(写真 2 - 1)
アスファルトの状況
(令和3年4月26日撮影)



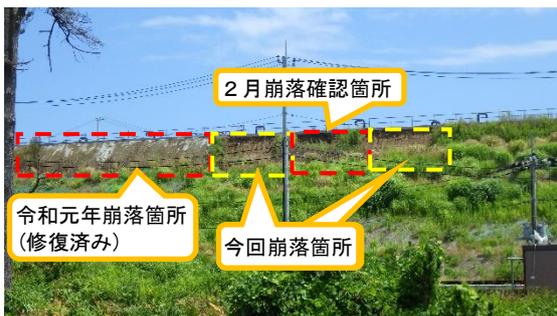
(写真 2 - 2)
同左
(令和3年7月29日撮影)

(2) 伐採木一時保管エリアTの現況確認について

伐採木一時保管エリアTでは、地下にチップ化した伐採木を保管するための保管槽を設置しており、保管槽の上には盛土及びシート掛けがなされている。令和3年7月28日に宮城県に上陸した台風8号の影響で当該エリアの法面の一部に崩れが発生したことから、その状況について確認した。

なお、伐採木一時保管エリアTでは、令和元年10月の台風19号などの影響で法面の崩落や進入路の亀裂発生などの事象が発生している。

- ・エリアの西側の法面では、東京電力が令和3年2月に行った設備確認時に発見された崩落箇所を囲むように法面の崩落が発生していた。（写真3）
- ・雨水が崩落箇所に流れないようにするため、応急措置として、法肩に土嚢が設置されていた。（写真3）
- ・進入路においては、確認した範囲で異常は見られなかった。（写真3）



(写真3-1)
崩落した法面の状況



(写真3-2)
法肩に設置された土嚢の状況



(写真3-3)
進入道路の状況
(令和元年10月16日撮影)



(写真3-4)
同左
(令和3年7月29日撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。